

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 (有) ひだまりの会

(ユニット名) グループホーム いぶき

記入者(管理者)

氏名 田中 ちとせ

評価完了日

平成 20年 1月 5日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	3870300880		
法人名	(有)ひだまりの会		
事業所名	グループホームいぶき		
所在地	宇和島市伊吹町甲1368番地3		(電話) 0895-24-7221
管理者	田中 ちとせ		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年1月23日	評価確定日	平成20年3月18日

【情報提供票より】 (平成20年1月10日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 4.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		
(3)利用者の概要 (平成20年1月10日現在)			
利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名
要介護3	1 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 73 歳	最高 90 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近所の子供さんが遊びに来て、一緒に散歩をされることもある。海が好きな方が多く、海を見に行かれたり、皆で出かける機会も作っておられる。
 職員は、夜間時、利用者と一緒にゆっくりとお話をする等、ご本人の言葉をそのまま記録し、思いや意向を職員全員で共有できるよう努めておられる。
 近所の協力医が必要に応じて往診に来てくれるようになっている。持病のある方も安心してホームで生活できるよう支えてくださっている。
 事業所で、らっきょを漬けたり梅干しも手作りされている。食欲のない方には、お好きなにぎり寿司やスイカを準備し、食欲を出していただけるよう工夫されている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・ 前回の評価結果を受けて、外出する機会を増やす取り組みをされている。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・ 自己評価は、職員全員が取り組み、管理者がまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・ 出席者の方よりかまぼこ板展への出品を提案していただき、検討されている。又、地域の他グループホームの方より、定期的に魚屋の車が来てくれることを紹介いただき、利用をし始められた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ ご家族の来訪時に意見をいただけるよう声掛けをされている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・ 近所の方達の来訪や時には散歩途中で近所のお宅に立ち寄りするようなこともある。自治会に加入されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			作り上げている。		
			(外部評価)		
			「利用者の思いに寄り添い、生活そのものに付き合う」ことを理念に掲げ、利用者がこれまで続けてきた地域の中で暮らしを継続できるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			玄関、事務所に事業所の理念を掲示されている。又、理念に沿ったスローガンも作成されている。		さらに、すべての職員が事業所の理念に立ち戻り、ケアを実践できるような仕組み作りの工夫が期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			完全にしてもらうことはなかなか難しいが、行事は時々行っている。		花火会、いもたき会等、近隣の方に参加してもらっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 気軽に声を掛け合っている。挨拶はしっかり交わしている。隣家は子供連れで遊びに来てもらっている。		いつでも遊びに来てもらえるように声かけをしている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) なかなか参加できないが、出来る限りは参加努力している。いもたきや、花火会を近隣の方と行っている。 (外部評価) 近所の方達の来訪や時には散歩途中でご近所のお宅に立ち寄るようなこともある。自治会に加入されている。		色々な研修・講演会等で話を聞いたり、ビデオを見せてもらい地域に自然と溶け込めるように努力していきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近くの独居老人への声かけ程度しか行えていない。自施設で手一杯でなかなか取り組めていない。		まだまだ地域に出て行く余裕がない。散歩時くらいは近隣に声かけしたり、努力している。地域の方にはホームに遊びに来てもらって楽しい時間を過ごせるといいと考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義は理解している。毎日の仕事に反省することが出来る。 (外部評価) 自己評価は、職員全員が取り組み、管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、外出する機会を増やす取り組みをされている。		さらに、サービス評価実施の過程を貴事業所のサービスの質の向上につなげていけるような取り組みの工夫が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			他グループホームの話を伺い、参考にさせてもらっている。		
			(外部評価)		
			出席者の方よりかまぼこ板展への出品を提案していただき、検討されている。又、地域の他グループホームの方より、定期的に魚屋の車が来てくれることを紹介いただき、利用をし始められた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			あまり出来ていない。11月に市で初めて会合が行われた。ホームより2名参加。		
			(外部評価)		
			市の主催で市内のグループホームの連絡会が、年2回開催されるようになった。出席時、他の事業所とともに公共施設のトイレの整備についてお願いをされた。		さらに、今後、研修の情報や、介護相談員の訪問時の意見を教えていただき、事業所のさらなる質の向上に向けて活用したいと考えておられた。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			一度、研修に参加したが理解が難しい。家族へ声かけをしたら、すでにされている方もいる。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修会に参加。ホームでの虐待はない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見を聞いている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 手紙や、電話で報告している。		ホーム便りを3月より作成したいと思っている。健康状態等は電話や手紙で、より細かく報告する。
			(外部評価) 管理者は、ご家族に毎月の書類送付時、お手紙でご本人の様子を伝えておられる。又、利用者の状態が気になる時には、随時、電話で状態を報告し、相談されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ほとんど意見は出ないが、意見があった場合には反映させている。		どんな些細なことでも話してもらえるような関係をつくる。
			(外部評価) ご家族の来訪時に意見をいただけるよう声掛けをされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 直ちに実行できないことがあるにしろ、ミーティング等で話し合いを行っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 限られた人数の中で、十分ではないかもしれないが対応できていると思う。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 配慮している。		
			(外部評価) 新人職員は、利用者個別の記録から情報を得て、利用者個々のことを知り得て対応されている。又、先輩職員から接し方についてアドバイスをもらっている。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内外の研修を受ける機会を確保し、参加するようにしている。		
			(外部評価) 外部研修の案内を事務所に掲示し、研修参加を推進されている。地域の4グループホームで「四葉会」を作り、勉強会等を行なっておられる。		今後、法人のデイサービスとともに勉強会を行なうことを予定されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			時々、している。		
			(外部評価)		
			他事業所と外部研修の情報交換をされている。又、他事業所の行事に利用者とともに参加され、交流を図っておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			話を聞くようにしている。ミーティング等話し合う機会も作っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修等を通じ、向上心を養っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			出来る限り、聴く、または聞き出すよう努力はしているが、おとなしい性格の方はなかなか求めていることが伝わってきにくいこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初期にはなかなか話をされませんが、聞く努力はしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入所時には本当の事が聞けていない。後になって色々な事が分かってくる。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用者に判断する力がない場合、家族と話し合っサービスをはじめることもある。 (外部評価) 急な入居となる場合も多いが、居室に畳を敷く等、「これまでの生活」を事業所でも続けていけるよう、配慮をされている。		さらに、入居前にホームを見学していただいたり、ご本人やご家族にお会いし、安心して入居いただけるような取り組みをすすめていきたいと考えておられた。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 努力はしている。 (外部評価) 職員は、利用者から昔のことを教えてもらったり、暮らしの知恵を教えていただくこともある。時に職員の体を気遣ってくださるような言葉をかけてもらうこともある。		少しでも時間を作り、一緒に過ごす時間をもっと大切にしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 難しいながらも、何かあったら電話等で話しはしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 声かけはしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) あまり出来ていない。友達が面会に来られる方はい		馴染みの場所へつれて行く等の努力。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 出来る限り仲良く皆が助け合えるよう努めてはいる。		その都度、声かけをする。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 3人退去されたが、時々電話をしている。1人は亡くなられたが、娘さん、お孫さん(小学生)と学校行事等で連絡がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出来ることはしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>職員は、夜間時、利用者とゆっくりとお話をする等、ご本人の言葉をそのまま記録し、思いや意向を職員全員で共有できるよう努めておられる。</p>					
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時には、なかなか把握することが出来ないが、徐々に本人や家族から聞いている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>努めている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>している。さらにミーティング等での話し合いを生かしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者やご家族の言葉、日々の利用者とのかかわりの中での職員の気づきを介護計画に反映できるよう努めておられる。</p>					<p>さらに、その人らしい介護計画を作成できるような工夫を重ねていかれることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
				電話等で話し、現状に即して計画作成している。	
			(外部評価)		
			利用者の状態に変化があるような場合、介護計画を見直しておられる。		ずれのないケアを実践していくためにも、介護計画の定期的な見直しとともに、随時の見直しを充実していかれることが期待される。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
				活かしていると思う。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
				出来ていない。	
			(外部評価)		
			整形外科等の通院時、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 協力しながら支援できているところまでは行けてないが、地区学校行事への声かけはしてもらっている。近所の子供が遊びに来てくれている。		料理を時々手伝ってもらう。何回かは参加してもらった。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) していない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) していない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 出来る限り行っている。他の病院へ行かれていた方がいたが、ホームへ来てくれるドクターに診てもらうようになって改善した方もいる。 (外部評価) 近所の協力医が必要に応じて往診に来てくれるようになっていて、持病のある方も安心してホームで生活できるよう支えてくださっている。		現在、診てもらっているドクターは優しい方で本人の話に耳を傾け、又職員の話も聞いてくれる。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 1人、受診している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけドクターの月2回の往診。急変の場合は直ちに連絡し、指示を仰いでいる。		かかりつけ医が出来、とても心強くなった。不安が軽減出来ている。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 現在、該当者なし。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) していない。 (外部評価) 現在は、必要に応じてご家族等と話し合いながら支援されている。		さらに、利用者、ご家族の意向をお聞きしたり、体制等について職員でも話し合っておくような機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在、該当者なし。1人おられたが、家族と話し合いの毛結果、入院となった。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) していない。現在、該当者なし。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			個人個人を尊重し、大切にしよう努力している。		
			(外部評価)		
			訪問時、職員は、利用者に対して穏やかに声をかけておられる様子がうかがえた。又、皆とちょっと離れた場所でくつろいだり、おしゃべりができるような環境作りにも配慮されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			努力はしてるが、出来ている時と出来ていない時がある。		魚屋の移動即売に来てもらい、利用者に食事材料を選んでもらっている。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			1人ひとりのペースは大切にしているが、その日その日の希望はあまり聞けていない。		
			(外部評価)		
			「入居前の生活に近い生活」を送ることができるよう、利用者個々のペースの尊重に努めておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 近所の理容師さんにしてもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒にしている。魚屋に来てもらい、食べたい魚を選んでもらう。 (外部評価) 事業所で、らっきょを漬けたり梅干しも手作りされている。食欲のない方には、お好きなにぎり寿司やスイカを準備し、食欲を出していただけるよう工夫されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲み物は好みのものを支援している。おやつは作った物や買ってきたものを食べてもらっている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) パターンを把握し、支援している。時々、失敗もある。		失敗がないように気をつける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日、入浴している。本人が入りたくない時はやめている。時間帯は午後1時30分から		
			(外部評価)		
			職員は、利用者個々に入浴の順番等、希望を聞きながら支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事の準備、洗濯物たたみ、掃除等できることをしてもらっている。歌を聴いたり、テレビを見たりしている。ビンゴゲーム等のゲームをすることもある。		お人形さんを作ったりしたが、月に1度は作っていきたい。手芸など、個人の好む楽しみ事をしていきたい。
			(外部評価)		
			職員とともに季節の装飾を作ることを楽しみにされている方もおられる。調査訪問時、昼食後、お茶のおかわりを注いで回られる利用者の様子がうかがえた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ほとんど預かっているが、本人が管理できる人もいる。		日向ぼっこをして欲しいと、ウッドデッキを作成する予定である。また、何度か訪ねた、かまぼこ板の絵の博物館の館長さんから、無料の招待券を頂き、作品を作ってみてはと声かけしていただき、検討中である。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			出来ていない。帰宅願望のある人は、度々外へ連れ出すが、1人ひとりには、その日の希望は聞けていない。		自然に外出できるようにしたい。
			(外部評価)		
			近所の子供さんが遊びに来て、一緒に散歩をされることもある。海が好きな方が多く、海を見に行かれたり、皆で出かける機会も作っておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			時々している。全員で動けないところは、個別に動いている。		希望の言えない人には、普段の生活の中の会話から得られるように努める。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時にかけている。手紙のやり取りはしていない。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束はしていないが、転倒の危険のある方に対し、言葉で拘束するときがある。なるべく見守るようにしているが、声かけで気分を害されることもある。		なるべく声を出さず、見守り、不快感を与えないような手助けが出来るようにする。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関はほとんど鍵をかけることはない。あまりに強い帰宅願望が出た場合は施錠することもある。(自室へ戻った10分後に外へ出ていた。探したら線路を歩いていた)		夜間の施錠だけで、昼間はかけないですむようにしたい。
			(外部評価) これまで利用者の状態によって、時に鍵をかけることもあったようであるが、現在は、鍵をかけず見守りを重視し、対応されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在は確認している。自室に戻った方については見守り、声かけをしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 話し合っており取り組んでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には行っていない。話し合いは行っている。		夜勤時職員は1人なので、不安が伴う。少しでも不安が取り除けるように勉強会をする。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 働きかけはしているが、十分ではないと思われる。消防職員に来てもらい訓練はした。 (外部評価) 消防署の方、介護相談員、ご近所の方にも参加いただき、夜間を想定して避難訓練を実施された。消火器の使い方を習われたり、いざの時のために食料等も備蓄されている。		月に1度、ホーム内だけでも訓練をする。 消防署の方から月に1度、訓練を行なってはどうかというようなアドバイスをいただいた。今後も、利用者の安心と安全のための積極的な取り組みが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) その時々に応じて、話をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェック、食事量、声かけ等により発見し、情報を共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努力している。医師に相談し、用量を加減することもある。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分、センナ茶、便秘薬等、排便チェック。身体を動かさずよう声かけしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声かけにより行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 支援しているが、どうしても食事量や水分量の少ない方もいる。その場合は医師に相談している。 (外部評価) 一度に食べる量が少ない方には、おにぎりを作り、お腹が空いた時に食べていただけるようにされている。水分摂取の少ない方には、声かけをいすすめておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 勉強会を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 出来ている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 木々、季節の花を植えて、明るい雰囲気をつくっている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) している。 (外部評価) 職員と共に、季節の飾りを手作りされている。又、皆が集まる場所から少し離れた場所にソファを設置されており、利用者がくつろいでいる様子が見えた。		今後、玄関からの仕切りや日向ぼっこができるウッドデッキを作ることも計画されていた。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) すべての入居者の希望通りは難しいが、出来る限りの工夫はしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族と相談し、家で使用していたものを持って来ても らったり工夫はしている。		
			(外部評価)		
			ご家族からの絵手紙、ご主人や母親の写真を飾ってお られる方もうかがえた。畳を敷き、こたつを置かれたり、鉢植えに水遣りされている方もおられる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			朝の掃除時、全室の開放、又排泄時には必ず換気している。温度調節は行っているが、本人の希望により出来ない場合もある。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			和室でない部屋に畳をしいている(和室希望者)ので、 段差が生じているので、安全面で不安もややある。		段差も必要だと思っている。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレのドアをはずし、カーテンにしている。ベッドの位置を考えている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			話し合いはしているが、まだ十分ではない。少ない土地に花を植えたり、野菜を植えて収穫したりしている。		ベランダは作ってもらおうよう、経営者に話をしている。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意思表示が出来る人については出来ている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	話しながら食事をしたり、洗濯物を一緒にたたんだり、一緒におやつを食べたりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の意思を表に出せない人については、こちらペースになっているかもしれない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の声かけで笑ったり、手芸をすることで生き生きした表情が見えたり、言葉が出てきたりする。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	動きにくい人は機会が少ないと思う。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月2回の往診。緊急時は直ちに医師に電話して指示を受ける。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族からの不安、不満はほとんど聞くことはないが、こちらから問うたり、話したりしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近所の方が子供連れで遊びに来てくれて、一緒に散歩したりしている。

